

会議録

- 議事内容 2025年度1月定例教育委員会
- 日時 令和8年1月20日(火) 13:30~16:30
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 小西 博泰
教育委員 藤本真理・石原友紀・酒井秀彦・加納昌樹
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長
福西スポーツ振興課長・教育総務課 小畑

■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ
・教育長
- 2 前回議事録確認

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q：8ページの「説明事項に対する教育委員からの照会及び意見」の中で、12月14日にエクラで開催されたハートフルシティコンサートの出場校が間違っていたため、修正していただきたい。午前の部は、「小野南中学校・河合中学校・小野高校」、午後の部は、「小野中学校・旭丘中学校・小野工業高校」が正しい。(教育委員)

A：8ページの下から4・5行目のハートフルシティコンサートの出場校の部分で、「午前の部では、小野南中学校・河合中学校・小野高校・小野吹奏楽団の合同楽団の演奏、午後の部では、小野中学校・旭丘中学校・小野工業高校・小野吹奏楽団の合同楽団の演奏で、非常に盛り上がった。」に変更する。(教育長)

Q：12ページの13行目の一文「地域によっては、草刈り隊を募ると20代から70代までの有志が集まり、楽しく草刈りをやってくれたという例もある。」は、地域での作業のことである。前述からの流れを見ると、学校の奉仕作業のことを指しているように見えるため、削除していただきたい。(教育委員)

A：その一文を削除する。(教育長)

Q：12ページの18行目の来住小学校のマラソン大会で、ぜんざいを振る舞った件については、地域のお店や保護者だけでなく、青少年健全育成会も協力していただいた。そのことも追記すると、地域・学校・保護者の密な連携が、もっとわかりやすくなるのではないかと思う。(教育委員)

A：12ページの18行目を、「地域のお店が主体となり、青少年健全育成会の力添えもあり、保護者と学校の先生が協力し、子どもたちにぜんざいを振る舞っていた」に変更する。(教育長)

(全委員一致で承認)

3 報告事項

- ・令和7年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

■〔学校教育課関連〕

①「夢と希望の教育」の充実と深化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・「おの幼稚園」開園、小野東幼稚園の園舎とのお別れ行事、わか松幼稚園及び小野東幼稚園の閉園に向けた準備を幼稚園とともに進めている。
- ・1月8日、人権教育研究大会を実施し、無事に終了した。参加した先生からは、「発表内容について深く考えた」「発表内容が学びとなった」という感想も多く、好評であった。

(今後の予定)

- ・「夢と希望の教育」の2026年度版リーフレットについて、編集を進めている。

②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・昨今、学校のいじめを動画で撮影し、SNSで拡散したことがきっかけで、いじめが発覚するという事案が起こっている。本当にすべてのいじめ案件が挙がっているのか、このような動画を発信する子どもが出てこないか等、注視している。

③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗状況)

- ・令和8年度に向けた教員確保及びその管理について、子どもの数が減少することで、学級数が減少し教員数が余剰になることも想定されるため、臨時講師等を調整しながら進めている。新任教員については、来年度、7名採用する予定である。
- ・教職員の超過勤務時間については、「見える化」したことで、80時間を超過する残業はなくなった。引き続き、超過勤務時間数の数管理を徹底していく。

(今後の予定)

- ・業務改善に係る「校務支援システム」の入替を、令和9年度に予定しており、導入に向けて準備を進めている。

④学校教育課情報

1 市の取組

- 第4期教育振興計画について
- 人権教育研究大会 旭丘中（1月8日）
- 夢と希望の教育推進委員会（2026年度リーフレットの編集等）
※令和7年度のまとめと令和8年度へ向けて
- ひらがな聴写テストの実施・分析（1月末～2月）

【議会行政視察対応】

1月20日（火）北海道議会

2 学校の取組

- 到達度テストの結果分析とフィードバックへ
今年度は、『i-check（アイチェック）』という「自尊感情」「自己肯定感」等を評価し、子どもたちの心や友だちとの関わりが可視化できるアンケートも導入している。学力との相関性を見ながら、結果分析を進めている。

3 学校の状況等

- 12月末 4号報告3件（いじめ2件） 累計：36件
- 12月の不登校の状況（ ）内は前年数値
小学校12名（22名）、中学校80名（88名） 合計92名（110名）

4号報告については、例年より少ない状況である。不登校については、昨年度より減少傾向である。引き続き、不登校の減少に向けて取組を進めていく。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：「ひらがな聴写テスト」とは何か、改めて説明をお願いしたい。（教育長）

A：「ひらがな聴写テスト」は、小学校2年生を対象としており、先生が話す言葉を正しく書きとることができるかというテストである。「っ」（促音）や、「ゃ」「ゅ」「ょ」（よう音）等、特殊音節を聞き取ることが苦手な子どもがいる。そういう子どもたちの躓き（つまづき）を早期に発見し、適切な支援を行っている。「ひらがな聴写テスト」は、1学期にも実施しており、子どもたちが書き記したテストから、正しく聞き取れているか、聞く力はあるが文字に表すことが苦手なのか、1学期からの支援で改善しているか等を読み解き、今後の指導に活かしていくための取組である。（事務局）

Q：「ひらがな聴写テスト」は、小学校の特別支援学級の子どもたちも受けるのか。（教育委員）

A：受けることができる子どもたちは、全員受けている。特別支援学校の子どもは受けていないが、個別の支援や日常の指導の中で、それぞれの子どもに合わせて適切な支援を行っているため、フォローはできている。(事務局)

Q：「到達度テスト」に加えて導入した、『i-check (アイチェック)』は、心理テストのようなものか。今は、昔より多くの情報が早く入ってくるからなのか、子どもたちの精神的な成長が早く、大人になるのが早いと感じており、複雑な心境である。(教育委員)

A：『i-check (アイチェック)』は、全国学力学習調査の質問紙調査に近いものである。今の子どもたちは、幼い面が際立つ一方で大人びた言葉を使うこともあり、そのアンバランスさが、危うさを生んでいるように思う。(事務局)

Q：最近、上司の発言や指導が「ハラスメント」だと捉えられることが多くなっている。学校内でもベテランの先生方が発言し難い風潮になっていないか、若手の先生が相談しやすい環境はあるのか等、心配している。(教育委員)

A：確かにそういった風潮もあり、若手の先生が悩んでいても、ベテランの先生方が踏み込んで話を聞くことが難しくなっている。また、人員配置の際、年齢層をバランス良く配分できない場合もあるため、自分の思いを吐露できる仲間が作れないといったケースもある。そのため、今までの初任者研修では、「授業づくり」「教員としての心構え」等といったことを主流にした研修内容が多かったが、最近は、同年代と繋がるきっかけを作り、同僚性を高めるような研修内容を多く採り入れている。今年度は「“助けて”と言えることが大切」というメッセージを伝えるため、専門講師を呼び、体験学習の手法を取り入れた研修を行った。(事務局)

A：年齢や性が違うと、人間関係にある程度の摩擦は生じるものである。しかし、それすらもハラスメントという言葉に言い換えられてしまっている風潮がある。このことについて、社会全体がハラスメントの見極めをしないといけないと考えている。(教育長)

※：先生方の中には、自分自身にゆとりを持たないと子どもたちに還元できないと考えている方も多い。悩み等を抱え込まず、誰かに相談したり、先輩に教えていただいたりすると、気持ちも楽になるのではないかと思う。そうすれば、視野も広がり、違った考え方も取り込みやすくなるのではないだろうか。(教育委員)

Q：中堅教員の学校組織マネジメントの強化や、若手教員の指導力育成の研修として極端な例であるが、離島の学校へ行く等、環境を大きく変えることも必要なのではないだろうか。離島では、どんなことでも自分でやらなければならないという環境であるため、そこでの経験が自分の自信へと繋がっていくのではないかと思う。(教育委員)

A：今の時代、情報が氾濫しているため、自分自身で体験することも少なくなっている。若手の先生だけでなく、中堅教員についても、様々な経験を積ませたいと考えている。(教育長)

■〔教育総務課関連〕

①おの幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・新幼稚園整備工事の進捗率は、令和7年12月末で100%となり、園舎が完成した。

工事内容：駐車場舗装工事、美装工事、消防検査、検査監査

- ・令和7年12月25日、園歌の作曲が完成した。現在、わか松幼稚園と小野東幼稚園の園児たちが練習しており、4月10日の開園式で披露する予定である。

(今後の予定)

- ・竣工式：2月2日(月)午前
- ・内覧会(地域向け)：2月2日(月)午後、2月7日(土)午前
- ・電話・セキュリティ付帯工事、カーテン取付、備品搬入：1月～3月中旬
- ・園舎お別れ会：3月20日(金・祝)
- ・引っ越し：3月26日(木)、3月27日(金)
- ・開園式：4月10日(金)午前

②学校施設長寿命化対策事業

●旭丘中学校

(進捗状況)

- ・体育館建替工事の進捗率は、18%で工程どおり進んでいる。

工事内容：基礎工事(型枠)、格技場改修工事(足場架設、外壁調査)

●河合中学校

(進捗状況)

- ・校舎長寿命化工事設計業務委託の進捗率は、72%で順調に進んでいる。

内容：令和7年12月10日 イメージパース完成

- ・仮設校舎賃貸借

令和7年12月22日入札落札 309,540,000円

東海リース株式会社 令和8年1月9日～令和10年3月15日

(今後の予定)

- ・仮設校舎建設打合せ：1月～3月
- ・仮設校舎着工：4月～5月
- ・仮設校舎完成・引越し：8月

③学校体育館空調設備整備事業

(工事スケジュール)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月
特別支援	→					
小野小	→					
大部小	→					
河合小	→					
来住小	→					
市場小	→					
小野東小		→				
中番小		→				
下東条小		→				

(進捗状況)

- ・学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その1）の進捗率は、85%
学校体育館空調整備工事設計・工事監理業務委託（その2）の進捗率は、74%
で順調に進んでいる。

- ・学校体育館空調整備工事

令和7年8月7日入札落札 令和7年8月12日～令和8年1月30日

小野特別支援学校 三輪設備 26,125,000円

→完了

令和7年8月19日入札落札 令和7年8月22日～令和8年2月27日

小野小・大部小 株式会社竹内工業所 52,327,000円

→小野小：完了、大部小：1月末で完了予定

令和7年8月29日入札落札 令和7年9月2日～令和8年2月6日

河合小 小林設備工業株式会社 24,585,000円

→完了

令和7年9月4日入札落札 令和7年9月8日～令和8年3月8日

来住小・市場小 三輪設備 39,820,000円

→来住小・市場小：1月末で完了予定

令和7年11月10日入札落札 令和7年11月13日～令和8年3月23日

小野東小 ナカムラ電設株式会社 27,390,000円

→1月着工

令和7年11月17日入札落札 令和7年11月20日～令和8年3月31日
中番小・下東条小 小林設備工業有限会社 50,237,000円
→1月着工

④GIGAスクール端末更新事業（GIGAスクール構想第2期「NEXT GIGA」）

（進捗状況）

- ・令和7年12月19日のプロポーザル審査会で、受託業者が決定した。
日本電通株式会社 神戸支店（前回導入時と同じ業者）

（今後の予定）

- ・受託業者と仮契約：1月
- ・3月議会上程・本契約：3月
- ・納品・更新：8月

⑤教育総務課情報

1 学校施設工事関係

○小野東小学校空調更新工事設計業務委託

令和7年6月9日入札落札 6,380,000円

宮永建築設計事務所 令和7年6月12日～令和8年3月19日

→令和7年6月20日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

令和7年9月30日：概算費用

○来住小・下東条小学校照明LED化工事設計業務委託

令和7年6月9日入札落札 5,720,000円

株式会社工藤建築環境設計室 令和7年7月2日～令和8年3月31日

→令和7年7月17日：学校・市・設計業者打合せ、現地調査

令和7年9月 4日：基本設計打合せ

令和7年9月30日：概算費用

○小・中・特別支援学校・幼稚園 空調設備定期点検業務委託

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（改正フロン排出抑制法）により、圧縮機に用いられる電動機の定格出力が7.5kw以上50kw未満の空調機器は、3年に1回以上の定期点検が義務づけられている。

→令和7年12月17日入札落札 913,000円

不二熱学サービス株式会社 神戸支店

令和7年12月19日～令和8年3月19日

○小野中学校格技場空調設備整備工事設計・監理業務委託

小野中学校は、令和9年度から開始する「部活動の拠点校方式」における柔道部の拠点校であり、重点的に格技場を使用することから、夏季における熱中症対策のため、来夏に向けて空調設備を整備する。

→2月入札予定

2 学校ICT関係

平成28年度に構築した教育系クラウドサービスイントラネットについて、構築から8年が経過し、クラウドサーバー利用料等が高騰してきたことから、ゼロベースでクラウドサービスの見直しを行い、新たなイントラネットを構築する。

○小野市教育系クラウド再構築業務委託

令和7年11月7日入札落札 14,630,000円

株式会社ケーオウエイ 北近畿営業所

構築期限：令和8年2月28日

保守期間：令和8年3月1日～令和13年3月31日（5年間）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：（実際に園歌をお聴きいただいた上で）おの幼稚園の園歌を聞いた感想をお聞きたい。（教育長）

A：翌日も幼稚園に行きたくなるような、ほっこりとした愛らしい楽曲になっている。（教育委員）

A：歌詞には小野市の魅力がほどよく盛り込まれ、曲には手拍子が入り入れられており、リズム良く温かみのある一曲になっている。（教育委員）

Q：河合中学校の仮設校舎賃貸借の金額が高額だと感じるがどうか。（教育委員）

A：おっしゃるとおり。昨今、建設物価が急激に高騰しており、旭丘中学校の仮設校舎より高額になっている。（事務局）

A：建築資材だけでなく、人件費も上昇している影響で、建設物価が高騰している。（事務局）

Q：工事スケジュールが遅れることは、よく耳にするが、学校体育館空調整備工事のスケジュールが、早くなっていることに驚いている。（教育委員）

A：市内13校で同様の体育館空調工事を実施することから、全体のスケジュールが早まっている。また、施工を担当した業者が、他の学校の工事を受注しているケースがあるため、比較的スムーズに工事が進んでいる。（事務局）

■ [いきいき社会創造課関連]

① 2026小野市成人式

(進捗状況)

- ・ 1月12日(月・祝)、うるおい交流館エクラで2026小野市成人式を開催した。対象者530人中384人の参加があり、参加率は74.2%であった。

②小野市民文化賞表彰

(進捗状況)

- ・ 広報1月号に小野市民文化賞受賞者決定記事を掲載した。

(今後の予定)

- ・ 2月14日(土)、小野市市民文化賞表彰式を小野市スポーツ賞表彰式と合同で開催する。

③いきいき社会創造課情報

○第37回短歌フォーラム選者会・第18回詩歌文学賞選考委員会

日 時：2月16日(月) 15時00分～17時00分

場 所：ザ・プリンス京都宝ヶ池 茶寮

- ・ 短歌フォーラム選者：永田和宏、小島ゆかり
- ・ 詩歌文学賞選考委員：永田和宏、小島ゆかり、高野ムツオ

○図書館 えほんおみくじ

期 間：1月4日(日)～1月26日(月)

内 容：おすすめ絵本を書いたおみくじを、本とあわせて展示する。おみくじは、全部で5種類(大吉・吉・中吉・小吉・末吉)あり、一言コメントと本のタイトルが書いてある。

○好古館 第15回ビッグひなまつり

期 間：1月24日(土)～3月29日(日)

内 容：館蔵のひな人形を中心に84組717体のひな人形を紹介する。また、商店街では、1月24日(土)～3月8日(日)、「第12回小野藩陣屋町のひなめぐり」も開催。

○コミセンきすみの 「きすみのの元気み～つけた！」写真コンテスト展

期 間：1月26日(月)～2月6日(金)

場 所：市役所 ウェルカムギャラリー

内 容：来住の素敵な場所(風景)や、来住の元気な人などの写真を展示。

※コミセンきすみの 大会議室 → 展示期間：2月8日(日)～18日(水)

④行事一覧 ※既に終了した事業を含む（別紙詳細）

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：成人式の YouTube 配信や別室で映像を流す等については、成人式実行委員会が決定しているのか。それは、コロナ禍から始まったのか。（教育委員）

A：毎年、成人式実行委員会が決定している。今年度は、使用する楽曲等の著作権の関係もあり、成人式実行委員会において YouTube 配信は行わないことと決定していた。しかしながら、会場周辺で待つ家族も多く、「YouTube で配信しないのか」という問合せもあった。（事務局）

A：おそらく、コロナ禍以前に「式典を見たい」という家族からの希望で、式典とは別室を開放し、映像を同時配信したのが始まりだと思われる。当時は、まだ YouTube や TikTok 等が普及しておらず、式典と同時に別室で映像を流すだけであった。（教育長）

Q：成人式の日程が地域によって違う理由は何か。（教育委員）

A：成人式の日程は、遠方からの帰省の関係や、近隣市と日程が重なると振袖の着付けや整髪予約がとれないという理由等から、各市町でそれぞれ決定している。そのため、地域や各市町によって日程が異なっている。小野市は、成人の基準が民法上変更になった際、当時の実行委員会が、従来の「成人式」という名称と「成人の日」の開催を継続すると決定した経緯がある。（事務局）

A：現在、成人式の名称と開催日は、毎年、実行委員会で決定している。（事務局）

Q：成人式に出席している子どもたちが、大声で囃し立てることもなく、真面目に取り組んでいる姿を見て感動した。（教育委員）

Q：成人式のプログラムの「格付けチェック」が、非常に好評であった。小野市の魅力を面白く発信できる、実行委員会の企画能力のレベルの高さに驚かされた。（教育委員）

A：実行委員長が話す場面で、咳払い一つ聞こえないほど、全員が真剣に話を聞いていた。また、式典の進行にもメリハリがついており、最後にうまく完結させるところ等、小野市の子どもたちの素晴らしさであり、小野市の「夢と希望の教育」の成果だと誇らしく感じた。（教育長）

※：小野市の子どもたちは、「成人式」を行事ではなく、1つの文化だと感じているのかもしれない。また、必ずOBたちが成人式を手伝いにくる光景は、小野市の新たな伝統になりつつある。（教育長）

■【スポーツ振興課関連】

①学校保健体育事業の推進

（進捗状況）

第1回目「なわとび検定」集計結果（別紙詳細）

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1年生	5.70	5.76	6.00	6.01	7.39	7.15	6.99
2年生	4.86	4.15	5.08	4.50	5.19	6.14	6.59
3年生	4.39	4.82	5.15	4.45	5.10	5.28	5.92
4年生	4.23	4.02	4.79	3.89	4.10	4.68	5.19
5年生	4.08	4.70	4.92	4.13	5.13	4.66	5.81
6年生	3.79	4.16	4.34	3.64	4.10	4.46	5.08
全体	4.48	4.57	5.04	4.42	5.18	5.38	5.91
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
3学期 全体	3.89	3.82	4.10	4.15	4.30	4.55	

※R 1～R 6の数値は、各年度3学期の数値（平均級）

- ・中番小学校、下東条小学校においては、すべての学年で平均級を上回っている。
- ・小野市全体の平均級については、前年を下回っている。各学年別の平均級では、令和2年～令和4年のコロナ禍で、当時、運動機会を制限された低学年層（1～3年生）が、中高学年層（4～6年生）になった今、平均級が前年を下回るという影響が出ている。

（今後の予定）

- ・なわとびは、体力だけでなく音感・リズムを育むスポーツである。この特性を各学校へ改めて周知し、明確に目標を掲げ、取組みを進めていく。

②第12回小野ハーフマラソン2025

（今後の予定）

- ・3月上旬、第3回実行委員会を開催し、反省点や改善点等を協議する。

（課題）

- ・第13回大会（交通規制・スタート地点・トイレ誘導・導線等）を踏まえたマニュアルの刷新、コース運営管理体制の確立。

③スポーツ振興課情報

1 学校保健体育

○第40回北播小学生駅伝カーニバル

日 時：1月17日（土）8時30分～

場 所：加西市立善望中学校周辺コース

主 催：北播陸上競技協会

→【大会結果】

5年生以下男子 優勝：小野東小学校Aチーム 入賞：市内5チーム
5年生以下女子 優勝：小野東小学校Aチーム 入賞：市内3チーム
6年生以下男子 2位：小野東小学校Aチーム 入賞：市内3チーム
6年生以下女子 優勝：小野東小学校Aチーム 入賞：市内4チーム

2 社会体育

○第2回小野市スポーツ協会理事会

日 時：1月21日（水）18時30分～

場 所：市役所2階 多目的ルーム

参加者：約50名（スポーツ協会会長・副会長、各協会理事長等）

内 容：令和7年度スポーツ賞表彰式について

令和8年度事業計画予定について

○第28回小野フレンドリーカップ（綱引き大会）

日 時：1月25日（日）9時00分～13時00分

場 所：総合体育館アルゴ

主 催：小野フレンドリーカップ実行委員会、小野市教育委員会

3 今後の予定

○令和7年度 小野市スポーツ賞表彰式

日 時：2月14日（土）表彰式14時00分～15時30分

場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール

内 容：小野市スポーツ賞表彰、小野市スポーツ協会賞表彰

主 催：小野市、小野市スポーツ協会

その他：今年度から小野市民文化賞と同時開催

○第14回小野アルプス縦走ハイキング

日 時：3月7日（土）受付開始9時30分、開会10時00分

場 所：スタート 神戸電鉄・JR加古川線 粟生駅

ゴール 白雲谷温泉ゆぴか

募 集：1月7日（水）～1月30日（金）定員300名（先着順）

参加費：無料（白雲谷温泉ゆぴか入浴料割引券400円を参加者全員にプレゼント）

駐車場：加古川上流浄化センター（150台）

→すでに定員に達しており、申込を締め切っている。

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：アルプス縦走ハイキングの募集は、先着順ということであるが、インターネットで申込するのか。（教育委員）

A：QRコードを読み込んで、申込サイト「イー・モシコム」から申込み方法と、申込用紙に記入し、窓口もしくは郵送・FAXで申込み方法がある。（事務局）

Q：アルプス縦走ハイキングの参加者にプレゼントする「白雲谷温泉ゆぴか入浴割引券」に有効期限はあるのか。（教育委員）

A：「白雲谷温泉ゆぴか入浴割引券」プレゼントは、観光協会とタイアップしたもので、有効期限は、観光協会と検討中である。（事務局）

Q：なわとびは、体育の授業で実施される種目に入っているのか。（教育委員）

A：授業で実施する種目に「なわとび」とは記述されていないが、調整力や巧緻性（こうちせい：指先や手を細かく正確に動かす能力）を高める運動の1つとして実施することは可能である。今回、なわとび検定の数値の低下には、コロナの影響もあると思うが、なわとびは短時間で心拍数を上げることができるため、ウォーミングアップにも効果的である。（事務局）

4 協議事項

○学校給食費の抜本的な負担軽減（給食無償化）について（教育総務課）

※別紙詳細

小学校段階（公立）の学校給食に係る食材費を支援（国1/2、都道府県1/2）

子育て支援に取り組む自治体を支援する観点から、各般の合意等に基づき、学校給食費の抜本的負担軽減のための「給食費負担軽減交付金」を創設し、都道府県に対し交付する。（※個人ではなく、自治体向けの支援策）

（文部科学省：令和8年度予算案）

支援額（※1）：給食実施校の在籍児童数（※2）×基準額（※3）×11か月×1/2

※1：特別支援学校小学部においては、特別支援教育就学奨励費負担金を優先し、同負担金による支援が基準額に満たない場合、基準額との差額を支援

※2：毎年5月1日現在。また、生活保護の教育扶助、要保護児童に該当する児童を除く

※3：都道府県からの申請が、下記の額を下回る場合には、その金額

●基準額

基準額	小学校・義務教育 学校前期課程	特別支援学校 小学部
完全給食	5,200円	6,200円
捕食給食	4,800円	5,800円
ミルク給食	1,200円	1,200円

完全給食：パン又は米飯等＋ミルク＋おかず

捕食給食：ミルク＋おかず

ミルク給食：ミルクのみ

- ・基準額を超える部分については、学校給食法に基づき、引き続き、保護者から徴収可能（特色ある給食の提供に係る各省関係事業等も柔軟に活用可能）
- ・非喫食者の取扱いについては、学校設置者の判断に委ねる（※交付金については、非喫食者も含めた在籍児童数で算定）

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：給食費の負担軽減は小学校だけなのか。（教育委員）

A：そのとおり。対象は、公立の小学校のみで、国立や私立の小学校は、対象外である。また、この負担軽減交付金は、あくまでも給食に係る食材費を支援するものであり、子どもたち個人に対する支援ではない。（事務局）

Q：幼稚園も対象外なのか。（教育委員）

A：幼稚園も対象外である。（事務局）

○市民研修センターの宿泊中止について（いきいき社会創造課） ※別紙詳細

【施設概要】

市民研修センターは、市内唯一の社会教育機関で、合宿や宿泊体験ができる公共施設（体育館・運動場・集会室を備え、宿泊・食事ができる）である。また、大規模災害時（非常時）には、下東条地区の指定避難所で、市内で唯一、寝具類を保有し、調理場や調理器具、浴室等を備え、和室で畳を完備した常設施設でもある。

【現在の状況及び課題】

- ・ボイラーの不具合（配管からの水漏れ等）により、宿泊を停止していたが、簡易な修繕（配管取替、パッキン交換等）により、使用できる状態になってい

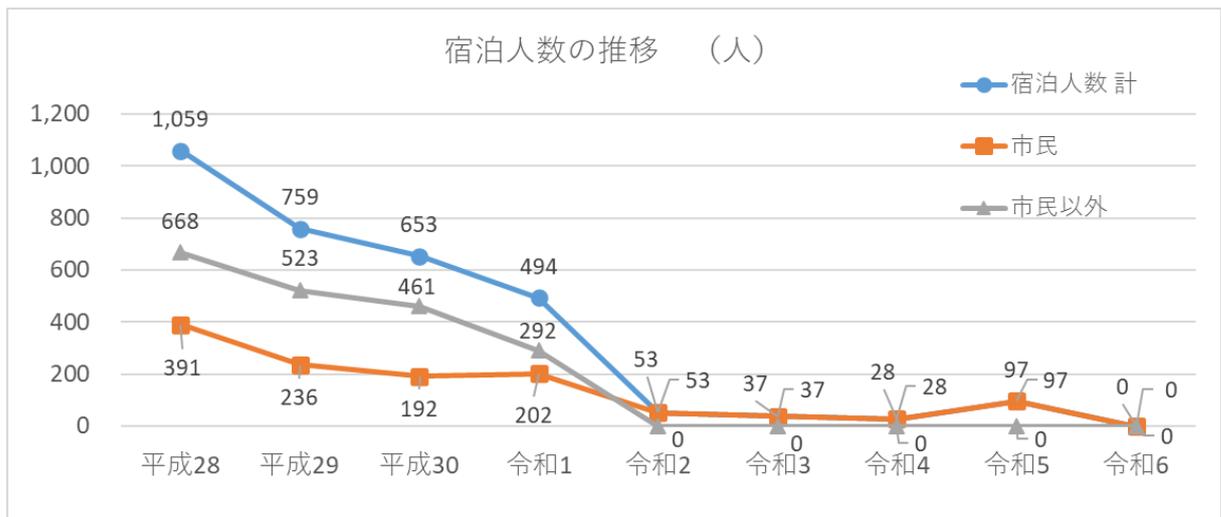
る。しかし、施設の老朽化の影響もあり、根本的な解決には至っていない。
また、ボイラーの再稼働には、専門業者による動作確認を行う必要がある。

- ・ 宿泊利用を約2年間中止したため、専門業者による布団クリーニング、ダニ退治燻煙・オゾン消臭・除染・日光干し等を実施する必要がある。

【宿泊中止の効果及び影響】

- ・ 年間約60万円の維持管理費が削減できる。
 (内訳) ボイラー保守委託：220千円、燃料費(灯油)：80千円
 シーツクリーニング：96千円、シルバー管理委託：204千円
- ・ コロナ禍以降は、利用団体が大幅に減少しているため、全体的に見れば大きな影響はない。
- ・ 宿泊利用を希望する一部の団体には影響がある。
- ・ 災害時に入浴設備を使用することができない。

【宿泊人数の推移】



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
宿泊人数計	1,059	759	653	494	53	37	28	97	0
市民	391	236	192	202	53	37	28	97	0
市民以外	668	523	461	292	0	0	0	0	0

■ 【教育委員からの照会及び意見】

Q：市民研修センターの宿泊人数が、コロナ以前より減少している理由は何か。(教育長)

A：飲酒禁止や男女の同室宿泊禁止など、モラル面の課題が指摘され、利用者が減少していった可能性がある。個室でプライバシーが確保できるホテルが普及したことも利用者減少の要因である。(事務局)

Q：浴室は使えないのか。(教育委員)

A：浴室は使用できるが、50年近く経過しているため、老朽化が進んでいる。また、ボイラーを完全修繕しようとする、高額なコストがかかる。そのため、宿泊を廃止し、既存設備を活かすことができる貸館スペースとして利用する。(事務局)

※：市民研修センターについては、避難所の機能を残しつつ、宿泊を廃止するということをご理解いただきたい。(教育長)

○第Ⅳ期小野市「夢と希望の教育」振興基本計画の策定について(学校教育課)

※別紙詳細

基本理念

夢や希望に向かい 心豊かで自立して 未来を創造する人づくり
～川島隆太教授の脳科学理論に基づく教育～

三つの方向性

- ①活力ある人材の育成
- ②安心して学べる教育環境の整備
- ③家庭・地域の教育力向上への支援

三つの重点施策

- ①脳を鍛え、心と学力を育む「おの検定」
- ②「16か年教育」「小中一貫教育」の推進
- ③小野市独自の学力向上施策と教育環境整備

六つの取組

- ①基礎基本の学力の定着、家庭学習の習慣を目指した「おの検定」
- ②脳科学の知見に基づいた健全な心と身体を育む取組
- ③根拠を明確にして論理的に考えを展開する言語活動や「“リアル”な関係性」の中で学ぶ授業づくりの充実
- ④“ほんもの”を重視した体験活動の実施
- ⑤「学びと指導の連続性」を重視した小中一貫教育の深化・充実
- ⑥福祉部局と連携した家庭教育の支援と就学前教育の再構築とさらなる充実

■【教育委員からの照会及び意見】

Q：Ⅲ期と比較すると、Ⅳ期は記述が箇条書きで整理されており、簡潔にまとまっている。また、進捗状況や次段階への移行が具体的に書いてあるため、理解しやすい。「ポストデジタル社会」には、言葉の直後にカッコ書きで意味が書いてあるが、「超スマート社会」にはそれがない。言葉の意味を後述で書いてある場合もある。これは、言葉の重要度に応じた意図的な使い分けなのか。意味の記述については、

後述に統一すれば、読みやすいのではないかと思う。(教育委員)

A : 言葉の意味の記述方法については、特に意識していなかった。後述に統一して記述する。(事務局)

Q : 3 ページの「六つの取組」の 1 つに「福祉部局と連携した、家庭教育の支援と就学前教育の再構築とさらなる充実」とあるが、この“再構築”は、新たに構築するという意味なのか。新たに構築するのであれば、何を“再構築”するのか。(教育委員)

A : 「既存のものを見直し、さらに充実させる」という意味を込めて“再構築”と表記した。意図が伝わるよう言葉を変えて表記する。(事務局)

Q : 「家庭」「学校」「地域」の並び順が文章によって違うのは、優先順位を反映させているからなのか。(教育委員)

A : そのとおり。「家庭」を優先している場合は、「家庭」を一番前に表記している。(事務局)

Q : 15 ページの『情報共有システム』による安全・安心な教育の推進のめざす方向性として、「学びの連続性」という表記があるが、これは「学び」ではなく「安全・安心」の連続性のことではないのか。(教育委員)

A : 「学びの仕組みが変わってしまうと子どもたちの安全・安心な学習に繋がらない」という意味で「学びの連続性」と表記した。(事務局)

A : 「指導の『連続性』」に変更した方がよりよい表記であるため、そのように変更する。(教育長)

Q : 6 ページの小中一貫教育の実施の具体的な展開の 3 番目の項目に「理数教育・外国語教育の推進」と表記されているが、その内容を考えると、1 番目の項目に表記した方がよいのではないだろうか。(教育委員)

A : 「理数教育・外国語教育の推進」については、当たり前になってきたため、文面から削除したが、具体的に何をするのかわかりにくいため、文言のみ残した。おっしゃるとおり、内容の親和性を考えると、1 番目の項目に表記した方が意図が伝わりやすいため、変更する。(事務局)

5 次回定例教育委員会予定

2月18日(水) 13時30分～ 4階会議室4-1

3月18日(水) 13時30分～ 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長